

# 九州GX推進フォーラム

参加  
無料

～脱炭素を通じた中小企業の価値創造～

取引先からの要請への対応、  
カーボンゼロ商品創出、専門家の活用  
による価値創造のヒントを共有します！

2025年  
**2/12 (水)**  
13時～17時  
定員：120名

於：電気ビル 共創館 3階 カンファレンスA (大会議室)  
福岡市中央区渡辺通2-1-82

オンライン配信あり ((O))  
定員：200名  
Microsoft Teams を使用

## 第1部

基調講演

13:00  
～13:50



### 1. 中小企業における脱炭素化の重要性

Sphera Solutions, Japan (株) ディレクター

大住 政寛 氏

世界的なLCAソフトウェアである「LCA for Expert」を日本において展開するSphera Solutions, Japan (株) の大住氏より、脱炭素に関する最近の動向と、中小企業が脱炭素に取り組む上で必要なマインドセットについて講演いたします。

### 2. 経済産業省におけるGX施策のご紹介

## 第2部

#### 課題1

### 取引先からの脱炭素要請への対応

企業価値を守る

個別課題の  
対応に関する  
事例紹介・  
トークセッション

13:50  
～17:00

脱炭素は自社の価値向上において重要ですが、単独で取り組むには課題が多い領域です。今回、地域のサプライチェーンで協業しながら脱炭素に取り組む方策について実例を交え紹介します。

九州経済産業局  
(報告：(公財)九州経済調査協会)

#### 課題2

### 脱炭素を通じた商品の付加価値向上

企業価値を高める

カーボンゼロ商品を持つ中小企業は大きなビジネスチャンスが訪れています。今年、その開発に業種の違う5社が挑戦！商品開発のポイントや試行錯誤した点など、専門家を交え事例を紹介します。

福岡市  
(報告：(一財)九州オープンイノベーションセンター)

#### 課題3

### 脱炭素対応人材やノウハウ不足への対応

企業価値を引き出す

カーボンニュートラル推進に実際に取り組んだ企業の実例とその推進をサポートした専門家の声を併せてお伝えすることで中小企業にとっての効率的な取り組み方を考えます。

(一財)九州オープンイノベーションセンター  
/九州経済産業局  
(報告：(株)アットグリーン)

2/7 締切



<https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/kyusyukenkan/k/yushugx>

定員になり次第締め切らせていただきます。

お問合せ:

九州経済産業局 資源エネルギー環境課 安達・櫻井 TEL:092-482-5468  
(一財)九州オープンイノベーションセンター /K-RIP TEL:092-474-0042

講演  
13:05~13:35

### 中小企業における脱炭素化の重要性

Sphera Solutions, Japan 株式会社 ディレクター 大住 政寛 氏

今後、脱炭素の要請は、グローバル企業のみならず中小企業にも及ぶと考えられます。一方、脱炭素の取組に関しハードルを感じている企業も多いのではないのでしょうか。長年、自動車メーカー、化学メーカーの環境負荷対策に取り組んできた大住氏から、脱炭素の取組はネガティブな「義務」ではなく、企業の価値創造に資するポジティブな「きっかけ」になるという観点で、最近の動向や具体的な取組の方策について講演をいたします。

施策紹介  
13:35~13:50

### 経済産業省におけるGX施策のご紹介 (オンライン)

経済産業省イノベーション・環境局 GXグループ 環境政策課 GX推進企画室  
課長補佐 永井 健寛

## 第2部 個別課題の対応に関する事例紹介・トークセッション

課題 1  
13:50~14:35

### 取引先からの脱炭素要請への対応

九州経済産業局

### GXのカギとしてのサプライチェーンにおける企業間の連携

今後強まることが予想される取引先からの脱炭素要請に関して、半導体や食品のサプライチェーンにおいて、企業間で連携してGXを実現している事例を紹介し、その可能性について報告します。

#### ①事業報告

(公財)九州経済調査協会  
河村 奏瑛

#### ②事例紹介



株式会社三松  
田名部 徹朗 氏



SAGA COLLECTIVE  
協同組合  
山口 真知 氏

休憩 14:35~14:45

課題 2  
14:45~16:10

### 脱炭素を通じた商品の付加価値向上



### カーボンゼロ商品開発 成功までの道筋！

水耕栽培、IT、倉庫業、印刷業、そして土木設計と、業種の異なる5社が挑戦した「カーボンゼロ商品開発」の道筋とその成果をサポートした専門家とともにご紹介します。

#### ①事例発表

株式会社  
GG.SUPPLY  
國村 隼太 氏

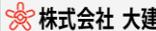
株式会社  
EDAHA  
黒瀬 啓介 氏

#### ②トークセッション

福岡倉庫  
株式会社  
黒田 朗 氏

株式会社ドミクス  
コーポレーション  
馬場 清敬 氏

株式会社  
大建  
横山 聖史 氏



#### 専門家

中小企業  
診断士  
篠原啓佑 氏



課題 3  
16:10~16:55

### 脱炭素対応人材やノウハウ不足への対応

(一財)九州オープンイノベーションセンター  
九州経済産業局

### 脱炭素/カーボンニュートラル分野の人材不足にどう立ち向かう？

専門家による支援を通じて脱炭素/CN経営をスムーズに進め、継続性ある活動とするためのポイントについて専門家や事業者から得られた声を主に報告いたします。トークセッションでは、支援を受けられた企業と専門家による生の声を通じて効果の高い脱炭素/CN経営戦略づくりに繋がります。

#### ①事業報告

株式会社ATGREEN  
富永 聖哉

#### ②企業と専門家によるトークセッション

日之出紙器工業株式会社、株式会社矢野特殊自動車  
独立行政法人中小企業基盤整備機構 九州本部  
一般社団法人エネルギー・マネジメント協会